

## 現地検討会を実施しました

### ～埼玉森林管理事務所のニホンジカ被害防止対策の取組について～

令和6年1月10日  
林野庁  
関東森林管理局  
埼玉森林管理事務所

令和5年12月13日(水)、埼玉県秩父市大滝入山国有林62は林小班において、「国有林における獣害対策現地検討会」を開催しました。入山国有林62は林小班は令和5年度に新植更新を実施した場所であり、シカ柵設置後のニホンジカの侵入は、柵の破れ、柵下からの潜り込み、柵の飛び越え等が考えられます。新植を行うにあたりシカ対策は重要であり、その設置方法について検討を重ねゾーンディフェンスにより獣道を遮断せず、パッチディフェンスを採用し少しでもシカのストレスを軽減することとしました。併せて、柵の設置にも検討を加え支柱間のネットの高さが1.8m以上となるよう斜面に打ち込む支柱の長さを長くしました。また、小班内に採餌場として単木保護を施した場所を設置し必要以上に柵内への関心を避けるように工夫したところがあります。今年度着手したばかりでありデータもない状況ではありますが実施した対策の取組みを紹介し、地域の林業関係者と意見交換を行いました。

当日は埼玉県秩父農林振興センター5名、寄居林業事務所2名、埼玉県農林振興公社1名、秩父市役所2名、東京大学秩父演習林6名、林業事業者2名の計18名が参加しました。



主催者挨拶、概要説明



シカ柵(パッチディフェンス)の施工状況を確認している様子

## 当初の計画



当初計画  
(新植箇所全体をシカ柵で囲う)

## 見直し



見直し  
(パッチディフェンスを採用し少しでもシカのストレスを軽減)

○検討会において出された主な意見等は次のとおりです。

- ・単木保護の苗木について単木保護資材の中で曲がってしまうのでは。
- ・令和3年度に実施した現地検討会場(中川国有林3 そ林小班)で単木保護資材の中で曲がってしまった植栽木を見たが、その後の経過はどうなっているのか。
- ・ヒノキ苗を植栽した理由はありますか。
- ・ワナによるシカ捕獲の職員実行はしていますか。
- ・高さを箇所によって変更しているシカ柵の支柱について、どの場所に短い支柱を立て、どの場所に長い支柱を立てているのか(短い支柱2.4m、支柱2.7m)。
- ・1つのエリアを3つのブロックに分割したが、単木保護のエリアをシカ柵にしなかった理由はなんですか。
- ・haあたりの植栽本数は何本ですか。
- ・シカ柵及び単木保護の施工単価について教えてほしい。

※埼玉森林管理事務所では、これまで取り組んできた防護柵や単木保護資材による対策と併せて引き続き検証を行い、二ホンジカ被害防止の向上に努めていきたいと考えています。



国民の森林・国有林

お問合せ先

関東森林管理局 埼玉森林管理事務所 担当者 総括森林整備官 関

〒368-0005 埼玉県秩父市大野原491-1

TEL : 0494-23-1260 FAX : 0494-23-1262